

古川まちづくり協議会 だより

発行日：令和3年2月1日
発行者：古川まちづくり協議会
(情報収集・発信の仕組みづくりグループ)

「いま」できる行事は
なんだろう



新型コロナウイルス感染症の影響により、例年開催されていた地域の行事が、今年度は相次いで中止となりました。私たち情報収集・発信の仕組みづくりグループも、令和2年3月に予定していた「地域づくりフォーラム」を延期の後、苦渋の決断でしたが中止としました。

そこで私たちのグループは、感染症対策を行いながら、このコロナ禍の中、実施できる行事を話し合いました。その話し合いの中で、地域づくり委員会から実施方法・開催形式を工夫し、地域行事を実施した事例が寄せられましたのでご紹介いたします。地域活動再開の見極めが難しい中、皆様の参考になれば幸いです。また、来年度実施したい取組みとその実施方法について、話し合いの中で生まれた意見もご紹介いたします。新しい生活様式に合わせた手法を考えるヒントになるのではないのでしょうか。

◆【実施した取組み】と実施した際の工夫点・方法など◆

【役員会(小規模の会議)】

- ・広い会場，少人数による開催，時間短縮，書面決議，SNSの活用など

【行事】

- ・室内の行事をパークゴルフ大会，ウォーキングイベント等，野外の行事に変更する

【防災訓練】

- ・訓練は実施せず，講話のみにする
- ・一か所に集まらずに，自宅にいながら参加できるように変更する。(例：目印となるタオル等を家の玄関先にかけておき，無事なことを示す訓練)

【セミナー，教室等】

- ・マスクを着けたままで参加できるような教室(例：マスクの手作り教室，感染対策セミナー)の開催
- ・3密対策，少人数による開催

【敬老会】

- ・集まる形式は中止→戸別訪問によって記念品を配布しながら，安否確認を行う

【その他】

- ・人数制限，換気，マスク着用，手指消毒等基本的な感染対策

◆【来年度実施したい取組み】と工夫点・方法について◆

【花火大会，夏祭り等の季節の行事】

- ・一方通行にするなど車や人の流れを制限する
- ・車の中から見られる会場

【フォーラム】

- ・事例を紹介してもらう団体のVTRを事前に収録しておく。
- ・VTRを活用したワークショップの開催

☆感染予防対策を十分に行い，地域住民の方々のご理解とご協力を得たうえでの実施をお願いいたします。

